



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月20日
東

上場会社名 サクサホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 6675 URL <https://www.saxa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長谷川 正治 (TEL) 03-5791-5511
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	40,373	1.7	2,247	19.5	2,220	15.7	935	△16.8
2019年3月期	39,705	5.4	1,879	264.1	1,919	193.6	1,124	300.7

(注) 包括利益 2020年3月期 163百万円(△79.0%) 2019年3月期 778百万円(△13.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	160.21	-	4.0	5.6	5.6
2019年3月期	192.45	-	4.8	4.7	4.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 △144百万円 2019年3月期 23百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	38,872	23,825	60.7	4,040.14
2019年3月期	40,547	23,961	58.6	4,068.69

(参考) 自己資本 2020年3月期 23,594百万円 2019年3月期 23,765百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	2,480	△1,191	△829	7,659
2019年3月期	2,784	△2,001	△1,403	7,199

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	-	-	-	50.00	50.00	292	26.0	1.2
2020年3月期	-	-	-	55.00	55.00	321	34.3	1.3
2021年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

新型コロナウイルス感染拡大により、現時点において当企業グループの事業活動への影響を合理的に算定することが困難であることから、業績予想は未定とさせていただきます。業績予想につきましては、今後開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	6,244,962株	2019年3月期	6,244,962株
② 期末自己株式数	2020年3月期	404,312株	2019年3月期	403,069株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	5,841,453株	2019年3月期	5,842,759株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,381	24.7	514	51.8	458	67.3	459	90.5
2019年3月期	1,107	△3.9	338	△7.7	274	△15.9	240	-
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	78.61		-					
2019年3月期	41.25		-					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	24,249		20,742		85.5	3,551.84		
2019年3月期	24,477		20,578		84.1	3,523.04		

(参考) 自己資本 2020年3月期 20,742百万円 2019年3月期 20,578百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルス感染拡大により、現時点において当企業グループの事業活動への影響を合理的に算定することが困難であることから、業績予想は未定とさせていただきます。業績予想につきましては、今後開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. 役員の変動	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国の経済は、米中貿易摩擦の長期化を始めとした地政学的なリスクはあるものの内需は底堅く推移し、緩やかな回復基調で推移しておりましたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、国内外経済とも先行きは全く不透明な状況となっております。

このような経済環境の中で、当企業グループは、「持続成長可能な事業への転換」および「あるべき姿に向けた収益構造への変革」を基本方針とし、基本方針実現に向け「事業構造の再構築」および「経営基盤の強化」の諸施策に継続して取り組まれました。

当連結会計年度の売上高は、40,373百万円（前年同期比667百万円増加）となりました。これは、集中事業の拡大として取組んだネットワーク機器および映像機器が前期に対して16.7%の伸長と公表値を下回ったものの、事業の効率化として取組んだアミューズメント市場向けのカードシステムおよび加工受託している部品、さらに、システムインテグレーション事業の受注が増加したことによるものです。

利益面では、売上増加に伴う利益の増加や事業の効率化の取組み等で経常利益が2,220百万円（前年同期比300百万円増加）となり、特別損失として固定資産の減損損失を1,068百万円計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、935百万円（前年同期比188百万円減少）となりました。

なお、当連結会計年度を最終年度とした中期経営計画では、目標とする経営指標として売上高460億円、経常利益20億円、ROE5.0%以上を掲げてまいりましたが、上記のとおり売上高については、集中事業の伸長未達成や新規事業の事業化の未達成により目標を下回りました。また、経常利益については、事業の効率化や経営基盤の強化の諸施策の実施により目標を上回りましたが、ROEについては4.0%と目標を下回る結果となりました。

分野別の営業の概況は、次のとおりです。

（ネットワークソリューション分野）

ネットワークソリューション分野の売上高は、25,121百万円（前年同期比5.6%増加）となりました。これは、OEMを含むキーテレホンシステムの受注減少はありましたが、期首から提供を開始したOEMオフィスゲートウェイを始めIPネットワーク製品・サービスのラインアップ強化策の取組みによりネットワーク機器の売上が増加したこと、加えて、特定分野に注力したシステムインテグレーション事業および車両ナンバー認識システムなどの映像システムの売上がそれぞれ増加したことなどによるものです。

（セキュリティソリューション分野）

セキュリティソリューション分野の売上高は、15,252百万円（前年同期比4.1%減少）となりました。これは、消費税法等の改正や法規制の見直しに伴うアミューズメント市場向けのカードシステムおよび加工受託している部品などの売上増加はありましたが、生産受託が受注減少したことによるものです。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の純資産は、退職給付に係る調整累計額が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ135百万円減少し23,825百万円、総資産が1,674百万円減少し38,872百万円となったことにより、自己資本比率は60.7%となりました。

増減の主なものは、以下のとおりです。

流動資産では、現金及び預金が売掛債権の回収などにより460百万円増加いたしました。

固定資産では、有形固定資産が減損損失の計上等により1,089百万円減少し、無形固定資産が償却などにより133百万円減少しております。

また、投資その他の資産は、時価評価による投資有価証券の減少などにより420百万円減少いたしました。

負債では、借入金が返済により526百万円、支払手形及び買掛金が743百万円それぞれ減少しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期末における現金及び現金同等物は、前期末残高に比べ460百万円増加し、7,659百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益および減価償却費の計上などにより2,480百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新商品の開発に伴うソフトウェアおよび金型の取得などにより1,191百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入金の返済および配当金の支払などにより829百万円の支出となりました。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な流行の感染拡大に伴い、当期において、資材および部品の調達の遅れ等、生産活動に遅れが生じるなど、サプライチェーンの一部に影響がありました。

現時点においても、新型コロナウイルス感染症流行の収束時期の見極めと、その影響の度合いについての見通しがたっていないため、当企業グループの事業活動に与える影響を合理的に見積もることが困難であることから、連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）および2021年3月期の配当予想については、未定とさせていただきます。今後開示が可能となった時点ですみやかに公表いたします。

また、2020年度から2022年度の3か年を計画とした中期経営計画についても、今後開示が可能となった時点ですみやかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当企業グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,199	7,659
受取手形及び売掛金	11,192	10,880
商品及び製品	1,447	1,410
仕掛品	649	550
原材料及び貯蔵品	2,577	2,440
その他	328	425
貸倒引当金	△2	△5
流動資産合計	23,392	23,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,981	8,964
減価償却累計額	△8,018	△7,997
建物及び構築物(純額)	963	967
機械装置及び運搬具	2,587	2,551
減価償却累計額	△2,322	△2,309
機械装置及び運搬具(純額)	265	241
工具、器具及び備品	6,273	5,912
減価償却累計額	△5,921	△5,604
工具、器具及び備品(純額)	351	307
土地	7,617	6,571
リース資産	11	14
減価償却累計額	△3	△6
リース資産(純額)	7	8
その他	—	20
有形固定資産合計	9,205	8,116
無形固定資産		
ソフトウェア	2,294	2,160
のれん	0	0
その他	39	39
無形固定資産合計	2,333	2,199
投資その他の資産		
投資有価証券	4,015	3,639
長期前払費用	150	112
繰延税金資産	1,066	1,055
その他	518	520
貸倒引当金	△135	△134
投資その他の資産合計	5,615	5,195
固定資産合計	17,155	15,511
資産合計	40,547	38,872

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,888	5,144
短期借入金	1,725	1,281
未払金	959	747
未払費用	1,237	1,274
未払法人税等	405	185
未払消費税等	383	574
役員賞与引当金	10	45
製品保証引当金	173	147
その他	323	325
流動負債合計	11,107	9,727
固定負債		
長期借入金	1,694	1,612
繰延税金負債	416	109
退職給付に係る負債	2,643	2,862
役員退職慰労引当金	90	65
その他	633	670
固定負債合計	5,478	5,319
負債合計	16,585	15,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,023	6,023
利益剰余金	7,279	7,922
自己株式	△1,247	△1,250
株主資本合計	22,891	23,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	481	263
為替換算調整勘定	△21	△20
退職給付に係る調整累計額	413	△180
その他の包括利益累計額合計	874	62
非支配株主持分	196	231
純資産合計	23,961	23,825
負債純資産合計	40,547	38,872

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	39,705	40,373
売上原価	28,917	29,026
売上総利益	10,788	11,346
販売費及び一般管理費	8,908	9,099
営業利益	1,879	2,247
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	84	99
持分法による投資利益	23	-
為替差益	18	12
受取補償金	20	44
雑収入	47	36
営業外収益合計	197	196
営業外費用		
支払利息	47	32
持分法による投資損失	-	144
貸倒引当金繰入額	62	-
雑支出	47	46
営業外費用合計	158	223
経常利益	1,919	2,220
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	0	88
持分変動利益	-	136
特別利益合計	0	226
特別損失		
固定資産除却損	19	9
固定資産売却損	0	0
投資有価証券評価損	-	59
減損損失	184	1,068
事業構造改善費用	72	-
特別損失合計	276	1,137
税金等調整前当期純利益	1,643	1,309
法人税、住民税及び事業税	377	300
法人税等調整額	124	32
法人税等合計	501	332
当期純利益	1,141	976
非支配株主に帰属する当期純利益	17	40
親会社株主に帰属する当期純利益	1,124	935

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,141	976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△147	△219
退職給付に係る調整額	△170	△594
持分法適用会社に対する持分相当額	△44	0
その他の包括利益合計	△363	△812
包括利益	778	163
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	761	123
非支配株主に係る包括利益	17	40

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,836	6,023	6,330	△1,245	21,944
当期変動額					
剰余金の配当			△175		△175
親会社株主に帰属する当期純利益			1,124		1,124
自己株式の取得				△2	△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			949	△2	946
当期末残高	10,836	6,023	7,279	△1,247	22,891

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	628	22	584	1,236	186	23,367
当期変動額						
剰余金の配当						△175
親会社株主に帰属する当期純利益						1,124
自己株式の取得						△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△147	△44	△170	△362	10	△352
当期変動額合計	△147	△44	△170	△362	10	594
当期末残高	481	△21	413	874	196	23,961

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,836	6,023	7,279	△1,247	22,891
当期変動額					
剰余金の配当			△292		△292
親会社株主に帰属する当期純利益			935		935
自己株式の取得				△2	△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			643	△2	641
当期末残高	10,836	6,023	7,922	△1,250	23,532

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	481	△21	413	874	196	23,961
当期変動額						
剰余金の配当						△292
親会社株主に帰属する当期純利益						935
自己株式の取得						△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△218	0	△594	△812	35	△777
当期変動額合計	△218	0	△594	△812	35	△135
当期末残高	263	△20	△180	62	231	23,825

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,643	1,309
減価償却費	1,626	1,446
減損損失	184	1,068
のれん償却額	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	62	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△271	△412
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	3	△25
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14	34
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	15	△25
受取利息及び受取配当金	△87	△102
支払利息	47	32
為替差損益 (△は益)	△5	1
持分法による投資損益 (△は益)	△23	144
持分変動損益 (△は益)	-	△136
社債発行費償却	0	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△88
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	59
固定資産売却損益 (△は益)	0	△1
固定資産除却損	19	9
事業構造改善費用	72	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△588	311
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△175	273
仕入債務の増減額 (△は減少)	35	△743
その他	257	△192
小計	2,803	2,963
利息及び配当金の受取額	87	102
利息の支払額	△46	△33
法人税等の支払額	△60	△553
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,784	2,480

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△406	△314
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△1,316	△968
投資有価証券の取得による支出	△279	△53
投資有価証券の売却による収入	0	142
関係会社貸付けによる支出	△30	-
関係会社貸付けの回収による収入	30	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,001	△1,191
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△450	△150
長期借入れによる収入	1,150	580
長期借入金の返済による支出	△1,886	△956
社債の償還による支出	△30	-
自己株式の取得による支出	△2	△2
配当金の支払額	△176	△292
非支配株主への配当金の支払額	△6	△5
その他	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,403	△829
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△621	460
現金及び現金同等物の期首残高	7,821	7,199
現金及び現金同等物の期末残高	7,199	7,659

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「雑収入」に含めて表示しておりました「受取補償金」は金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「雑収入」に表示していた68百万円は、「受取補償金」20百万円、「雑収入」47百万円として組み替えております。

(会計上の見積りの変更)

連結子会社のサクサ株式会社は、退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として10年で費用処理しておりましたが、平均残存期間がこれを下回ったため、当連結会計年度より費用処理年数を8年に変更しております。

この変更により、当連結会計年度の営業利益、経常利益および税金等調整前当期純利益は、それぞれ77百万円増加しております。

(セグメント情報等)

当企業グループは、情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売ならびにこれらに付帯するサービスの提供からなる事業を行っており事業区分が単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	4,068.69円	4,040.14円
1株当たり当期純利益	192.45円	160.21円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,124	935
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益(百万円)	1,124	935
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,842	5,841

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	23,961	23,825
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	196	231
(うち非支配株主持分(百万円))	(196)	(231)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	23,765	23,594
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	5,841	5,840

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 役員の変動

本日（2020年5月20日）公表の「代表取締役および役員等の異動に関するお知らせ」をご参照ください。